

すすきの夜の♡
トリエンナーレ
2024

ご協賛のお願い

北海道地域連動アートプロジェクト
[すすきのトリエンナーレ実行委員会]

すすきの夜のトリエンナーレ2024 概要

テーマ: パンとサーカス

日時: 2024年2月20日(火)～ 2月25日(日) 18:00 ～ 23:00

会場: オークラビル7階 / 札幌市中央区南五条西2丁目1-14(すすきの駅徒歩3分)

出展作家: Chim↑Pom from Smappa!Group、今村育子、遠藤麻衣、上遠野敏、小泉明郎、鈴木涼子、
高橋喜代史、武田浩志、南阿沙美、鷺尾幸輝

入場料: 1000円(ワンドリンク付き)

主催: 北海道地域連動アートプロジェクト[すすきの夜のトリエンナーレ実行委員会]

協力: 株式会社ジヨム・アンド・カンパニー、丸田知明建築設計事務所 丸田知明、有限会社 リーシング・スタッフ、株式会社わしづ

協賛:

AURA ARCHITECTS株式会社 建築家 山本謙一

株式会社フロントヤード

有限会社 高橋商店

寺田英司

有限会社 リーシング・スタッフ

株式会社 CHUE MUSIC、株式会社SHACHI GROUP、RADIOワンダーストレイジFMドラマシティ、SA+O、

相談支援事業所あさのは、いづか歯科、カネイチ、山口裕美 / アートプロデューサー

天崎 大輔、有田 英宗、今村 雄一郎、エコグリーン、片岡 世地、株式会社ガイア、株式会社ジヨム・アンド・カンパニー、株式会社わしづ、
草開 賢子、酒井 秀治、札幌シメパフェ、佐野 和哉、白鳥 健志、高畠 みゆき、中島 洋、中森 秀一、沼山 良明、ポール、関 鎮京

すすきの夜のトリエンナーレとは

人口190万を有する北海道の中心都市、札幌。その札幌市の歓楽街が「すすきの」です。すすきのは、時代に応じ、さまざまに姿を変えながら、独特の文化をつくりあげてきました。社会環境や経済の変化の影響を大きく受け、すすきのは様々にその姿を変貌させてきています。「すすきの夜のトリエンナーレ」は、すすきのを舞台にした夜の展覧会です。札幌国際芸術祭（SIAF）の開催に合わせ、展覧会終了後の夜の観光（ナイトタイムエコノミー）の創出、国内外で活躍する作家と地元作家の紹介の場として、アーティストやギャラリスト主導のもと開催します。

すすきの夜のトリエンナーレ2024 テーマ「パンとサーカス」

夜トリ2024のテーマはパンとサーカスです。パンとサーカスとは、古代ローマ時代の詩人が当時の世相を憂いて詩中で使用した言葉です。権力者から与えられる「パン（飲食）」と「サーカス（娯楽）」によって、市民が政治的盲目へ導かれていくことへの問題提起であり、現代においてもその警鐘は鳴り響いています。欲望と幻想が交差するすすきののは、まさにパンとサーカスの溢れる場所。本展覧会は、すすきのがもつ祝祭感、身体性、関係性、ポリティカル、近代史、都市開発などをコンセプトとした作品群や、誰しもにある欲望とその欲望にとどまらない身体性に着目した作品群を通じ、多様な人間のあり方を考察していきます。伝統あるオークラビル最上階を舞台に展開される夜の展覧会「すすきの夜のトリエンナーレ」にご期待ください。

ARTIST///すすきの夜のトリエンナーレ2024 出展作家

Chim↑Pom from Smappa!Group

卯城竜太・林靖高・エリイ・岡田将孝・稲岡求・水野俊紀により、2005年に東京で結成されたアーティストコレクティブ。時代のリアルを追究し、現代社会に全力で介入したクリティカルな作品を次々と発表。世界中の展覧会に参加するだけでなく、独自でもさまざまなプロジェクトを展開する。帰還困難区域内では、封鎖が解除されるまで「観に行くことができない」長期にわたる国際展「Don't Follow the Wind」の発案と立ち上げを行い、作家としても参加、2015年にオープンし、いまま開催中。2017年、台湾で開催されたアジア・アート・ビエンナーレでは、公道から美術館内にかけて、200mの道「Chim↑Pom Street」を敷き、公私を超えた独自のレギュレーションを公布、ブロックパーティやデモの場となり、伝説となる。そのプロジェクトベースの作品は、グッゲンハイム美術館、ポンピドゥセンターなどにコレクションされる。



LOVE IS OVER 2014 Photo: Kishin Shinoyama Courtesy of the artist, ANOMALY and MUJIN-TO Production

今村育子

1978年北海道札幌市生まれ。2006年より、人と人、人と物などの「間(あいだ)」についての関心から、明るい部屋から暗い部屋へ滲みでる光、ドアの隙間から漏れる光など、相対する関係の間に発生する光のグラデーションをモチーフにインスタレーションなどを制作する。主な展覧会に 2022年「RIMOKON」Artothek, PLATFORM(ミュンヘン)、2019年「第7回札幌500m美術館賞 入選展」札幌大通地下ギャラリー 500m美術館(札幌)、2018年「むこうの部屋」CAI02(札幌)、2017年「家族の肖像」本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌)、2016年「ともにいること ともにあること」北海道立近代美術館(札幌)、「AKARI reflection | ひかりの連鎖」モエレ沼公園(札幌)、2014年「札幌国際芸術祭2014」札幌大通地下ギャラリー 500m美術館(札幌)、2011年「Living Art」札幌芸術の森美術館(札幌)、2009年「雪国の華」上海莫干山路 50号(上海)など。



ARTIST///すすきの夜のトリエンナーレ2024 出展作家

遠藤麻衣

俳優・美術家。近年の発表としては、個展「屋上のアクチュアル」(TAV GALLERY、2023)、グループ展「フェミニズムズ」(金沢21世紀美術館、2021)、演劇出演で第21回AAF戯曲賞受賞記念公演「鮭なら死んでるひよこたち」(愛知県芸術劇場、2023)など。他にも、美学校で「シャドーフェミニズムズの芸術実践」(2022-)の開講や、丸山美佳との「Multiple Spirits(マルスピ)」(2018-)でジン出版や展覧会企画などクィアフェミニスト的な実践を展開している。2021年東京芸術大学美術研究科博士後期課程修了。2022年には文化庁新進芸術家海外研修制度でニューヨークに滞在。



遠藤麻衣《屋上のアクチュアル#3》, 2023

上遠野敏

美術家、札幌市立大学名誉教授、札幌芸術賞。東京藝術大学大学院彫刻専攻修了。主な展覧会に北日本の5人の作家達」(ハンブルク総合芸術館カンパナーゲル/ハンブルク文化庁主催)、「札幌国際芸術祭2014」(500m美術館)、上遠野敏展「命と祈りの約束」(500m美術館)など。「札幌駅南口モニュメント」3部構成の監修・デザイン・制作。アートディレクターとして「札幌市生涯学習総合センター館内アート設置計画」、「Beautiful Japanese Heart Project平和の旗・札幌コンベンションセンター開館1周年事業」、「そらち炭鉱の記憶アートプ



ARTIST///すすきの夜のトリエンナーレ2024 出展作家

小泉明郎

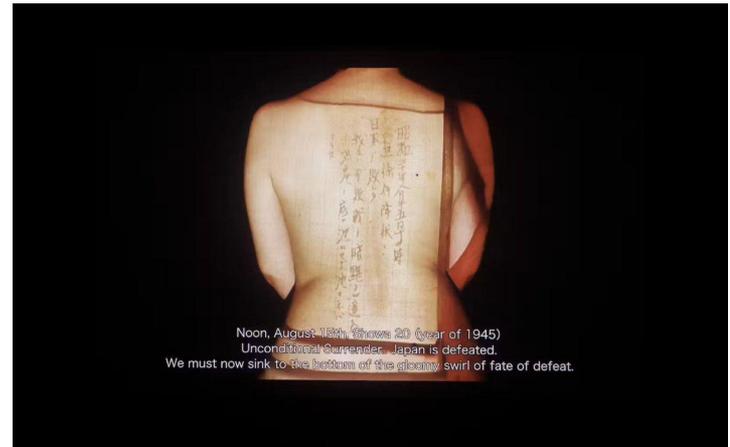
1976年生まれ。これまで多数の国内外の国際展や美術館で、人間の身体性や感情と集団的な無意識との関係性を扱った映像インスタレーションを発表してきた。世界各地の美術館に作品が収蔵されている。主な国際展として光州ビエンナーレ、シャルジャビエンナーレ、上海ビエンナーレ、あいちトリエンナーレ等に参加。主な個展としては「Projects 99: Meiro Koizumi」(MoMA、ニューヨーク、2013)、「捕われた声は静寂の夢を見る」(アーツ前橋、2015)、「Battlelands」(ペレス美術館、マイアミ、アメリカ合衆国、2018)等を開催。VR演劇「縛られたプロメテウス」(2019年)は、第24回文化庁メディア芸術祭アート部門で大賞を受賞。2021年には国際的なアートプライズであるArtes Mundi Prize(カーディフ、英国)を受賞。



Amazing Grace Single Video Intallation 3 min 30sec, Stereo, Color 2001(スティル画像)

鈴木涼子

北海道札幌市在住。2007年文化庁の新進芸術家海外研修員としてドイツで1年間研修。ジェンダーやセクシャリティなどをテーマに、自意識や人間の欲望、社会の歪みに焦点をあてた作品を制作している。「上海ビエンナーレ」(上海美術館、2004)や「グローバル・フェミニズム展」(ブルックリン美術館/ NY/2007年)、「The Women Behind展」(Museum on the Seam/エルサレム/イスラエル)などの国際展にも多数参加。代表作である「Bind」(自身の体を自らの血を浸した豚の皮紐で縛り上げ、抑圧されて来た女性像をシンプルに告発したシリーズ)は、未だジェンダーギャップ指数の低い日本社会を端的に表現した作品として、各開催美術館の所蔵になるなどその作品は国際的にも高い評価を得ている。



Noon, August 14th, Hiroshima 20 (year of 1945)
Unconditional Surrender. Japan is defeated.
We must now sink to the bottom of the gloomy swirl of fate of defeat.

ARTIST///すすきの夜のトリエンナーレ2024 出展作家

高橋喜代史

美術家/一般社団法人 PROJECTA ディレクター

1974年北海道出身。「言葉と身体」に関する映像作品と立体作品を制作。近年は、地方や社会の問題に個人の心情を重ねる作品を発表。主な展覧会としてフランス、ニュージーランド、北アイルランドでの個展やカナダ、ドイツ、中国でのグループ展など札幌を拠点に国内外で活動。2022年 第2回KYOBASHI ART WALL 優秀賞。2020年 第3回本郷新記念札幌彫刻賞。2010年 JRタワーアートボックス最優秀賞。2006年 第23回産経国際書展入選。2000年ビッグコミックスピリッツ努力賞。1995年ヤングマガジン奨励賞。2012年より500m美術館の企画をはじめ、テラス計画、シンクスクール、パレルミュージアム、鉄と光の芸術祭など地域における美術の企画運営も行う。 2015年一般社団法人 PROJECTA設立。2017年よりnaebono art studio運営メンバー。



And More !

これまでのすすきの夜のトリエンナーレ

●「コインの裏」【会期】2014年9月19日～27日【会場】第21桂和ビル5F(札幌市中央区南6西4)

都市の歴史や近代化を紐解きながら、人間のもっている欲望や社会システムに焦点をあてた展覧会を開催しました。

●「BAR出会い」【会期】2017年8月6日～10月1日【会場】第2三谷ビル6階(札幌市中央区南1西6)

札幌国際芸術祭2017オフィシャルプログラムとして、参加アーティストやスタッフ関係者も来場する「BAR 出会い」を会期中全日運営しました。期間中は毎日、ライブ、トークが繰り広げられ期間中の夜の時間帯を楽しむ場を作りました。



EVENT///すすきの夜のトリエンナーレ2024 は毎日イベント開催します

2月20日(火) 20:00-22:00 Chim↑Pomナイト&アーティストトーク「オープニング・パーティ」
夜トリのオープニングパーティは、アーティストトークで始まります。

第1部(出演者予定) | 今村育子、上遠野敏、鈴木涼子、高橋喜代史、武田浩志、鷺尾幸輝

第2部(出演者予定) | Chim↑Pom from Smappa!Group

2月21日(水) Coming Soon !

2月22日(木) 19:00-22:00 ウーマンズナイト「スナック りょうこ」

ディープなすすきのに今夜だけ「スナックりょうこ」が開店します。どなた様も気軽にきてね。

出演者 今村育子、佐野由美子、鈴木涼子、他

2月23日(金) Coming Soon !

2月24日(土) 20:00- 朝まで オールナイト「パフォーマンス・アート・ナイト」

土曜日は、サタデーオールナイト。パフォーマンスや DJなど賑やかな一夜。

伝説の「B-1グランプリ」も復活。誰もいなくなったらひっそりと閉めて帰ります。

出演者:大黒淳一、高橋喜代史、鷺尾幸輝、田口虹太、他

※イベント時間や内容、出演者などは変更することがございます。

SUPPORT

ご協賛のお願い

すすきの夜のトリエンナーレ 2024は、北海道を拠点としてアートに真摯に取り組むアーティストやディレクターが運営しています。

今般、とても良い会場が見つかりましたが、会場の利用にあたっては、消防法上改修工事が必要なことが判明しました。改修工事に 50万円の費用が見込まれています。改修を行わなくてもよい会場も準備していますが、十分な広さを備えているものとはなっていません。私たちの力では工事費用が足りず、このたび協賛をお願いすることとしました。みなさまの協賛金次第で、会場の広さ・参加アーティストが決定することになります。すすきの夜のトリエンナーレは、北海道のアートの発展にも重要な意義を有する展覧会です。

ぜひともご協賛をお願いいたします。

ご協賛プラン



お申し込みは、[googleフォーム](#)でお申し込みください。

【申込締め切り】2024年2月25日(日) 【入金締め切り】2024年2月29日(日)

SPECIAL VIPプラン 100,000円	<ul style="list-style-type: none">①フライヤーにロゴ or お名前を掲載(希望者のみ・1/21までにご入金いただいた場合)②webの協賛社ページにロゴ or お名前を掲載(希望者のみ・ご入金後掲載)③1ドリンク付き入場チケット×10枚④シャンパンボトル×1本⑤以下の6つのリターンから2つお選びください <ul style="list-style-type: none">・参加作家(①今村育子、②鈴木涼子、③高橋喜代史)の小作品、ドローイング、プリントなど1点・実行委員会メンバーによるお役立ち相談 <ul style="list-style-type: none">④川上大雅による、法律相談時間 or 顧問契約1か月 or 商標登録1件(実費別)⑤高橋喜代史による、プレスト会議への参加およびアイデア出し回(交通費別)⑥今村育子による、名刺 or ダイレクトメールのデザイン案作成(印刷費別)
VIPプラン 50,000円	<ul style="list-style-type: none">①フライヤーにお名前を掲載(希望者のみ・1/21までにご入金いただいた場合)②webの協賛社ページに掲載(希望者のみ・ご入金後掲載)③1ドリンク付き入場チケット5枚④6つのリターンから1つお選びください
応援プラン 10,000円	<ul style="list-style-type: none">①webにお名前を掲載(希望者のみ)②1ドリンク付き入場チケット2枚

【お振込口座】北洋銀行／本店営業部／普通6664100／口座名義：北海道地域連動アートプロジェクト実行委員会

※ リターンの作品は、各作家限定5作品です。作品の送付は3月頃を予定しています。

※ 2月15日以降にお申込みいただいた協賛者様への入場チケットは会場入口にてお渡します。

COMMITTEE

すすきの夜のトリエンナーレ実行委員会について

札幌で現代アートの活動を行うアーティストとディレクターが集まって企画運営を進めています。

実行委員長 高橋喜代史(美術家 / 一般社団法人PROJECTA)

委員 今村育子(アーティスト / 会社員)

委員 川上大雅(salon cojica / 札幌北商標法律事務所)

委員 佐野由美子(CAI03)

